

みずほCustomer Desk Report 2022/07/25 号 (As of 2022/07/22)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	137.36 AUD/USD
TKY 9:00AM	137.08	1.0221	140.08	1.1995	0.6923
SYD-NY High	137.95	1.0255	140.69	1.2064	0.6976
SYD-NY Low	135.58	1.0131	138.79	1.1918	0.6894
NY 5:00 PM	136.08	1.0214	138.92	1.2010	0.6925

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,899.29	▲ 137.61	日本2年債	▲0.0800%	0.0000%
NASDAQ	11,834.11	▲ 225.50	日本10年債	0.2200%	▲0.0100%
S&P	3,961.63	▲ 37.32	米国2年債	2.9700%	▲0.1245%
日経平均	27,914.66	111.66	米国5年債	2.8464%	▲0.1413%
TOPIX	1,955.97	5.38	米国10年債	2.7522%	▲0.1281%
シカゴ日経先物	27,665.00	▲ 235.00	独10年債	1.0200%	▲0.1965%
ロンドンFT	7,276.37	5.86	英10年債	1.9365%	▲0.1090%
DAX	13,253.68	7.04	豪10年債	3.4730%	▲0.0880%
ハンセン指数	20,609.14	34.51	USDJPY 1M Vol	11.00%	0.67%
上海総合	3,269.97	▲ 2.03	USDJPY 3M Vol	10.95%	0.14%
NY金	1,727.40	14.00	USDJPY 6M Vol	10.93%	0.10%
WTI	94.70	▲ 1.65	USDJPY 1M 25RR	▲1.07%	Yen Call Over
CRB指数	281.16	▲ 0.68	EURJPY 3M Vol	13.06%	0.22%
ドルインデックス	106.73	▲ 0.18	EURJPY 6M Vol	12.94%	0.15%

東京	前日海外時間のドル売りの流れを引き継ぎ、オセアニア時間に一時137.03まで下落し、東京時間は137.08レベルでオープン。その後は買戻しが入り、またユーロ安の進行もドル高のサポート材料となり、ドル円は一時137.95まで上昇し、137.87レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は137.87レベルでオープンし、米長期金利の大幅低下を受けて下落。節目の137円を割れて一時136.78まで売られたが、その後、ドルの買戻しがやや入り、結局136.90レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では欧州のPMIが予想を下回り、景気の分岐と言われる50を下回ったことから前日の午後に買い戻されたユーロドルが下落する動きにドル円は下値をサポートされるがユーロ円が大きく下落する動きや、欧州債金利低下を受け米金利も低下したことから上値を切り下げ136.90レベルでNYオープン。朝方はユーロドルが若干買い戻される中、発表された米PMI製造業は52.3と予想52.0を若干上回るが、サービス業が47.0と予想を大きく下回り、景気の分岐といわれる50も下回ったことから短期的なサポートであった136.40を抜け、135.58まで下落する。その後は大幅に下落した米金利が若干戻す動きにドル円も136.25まで戻す。午後は週末を控え閑散な取引の中、米金利が再び低下する動きにドル円を上値を切り下げ136.08レベルでクローズした。一方、前日のラガルド総裁の記者会見を受け下落後再び買い戻されたユーロドルは、海外市場で7月フランス製造業PMIとドイツ製造業、サービス業PMIがともに景気の分岐と言われる50を下回る内容となり、前日の50bpの利上げ前から景気が悪化していたことが嫌気され、1.0131まで下落し、1.0177レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、米PMI結果を受けたドル売りにユーロドルは1.0255まで戻す。その後は週末を控え方向感のない推移が続く、1.0214レベルでクローズした。

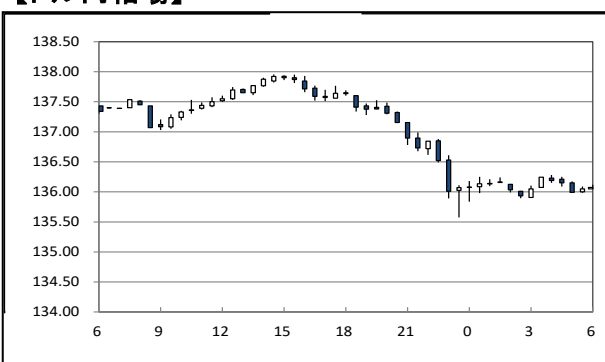
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月22日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	6月 2.4%/2.2%/1.0%	2.4%/2.2%/0.9%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料)(前月比/前年比)	6月 0.4%/-5.9%	-0.4%/-6.2%
	16:30	独 製造業/サービス業/総合 PMI	7月 49.2/49.2/48.0	50.7/51.4/50.2
	17:00	欧 製造業/サービス業/総合 PMI	7月 49.6/50.6/49.4	51.0/52.0/51.0
	21:30	米 製造業/サービス業/総合 PMI	7月 52.3/47.0/47.5	52.0/52.7/52.4

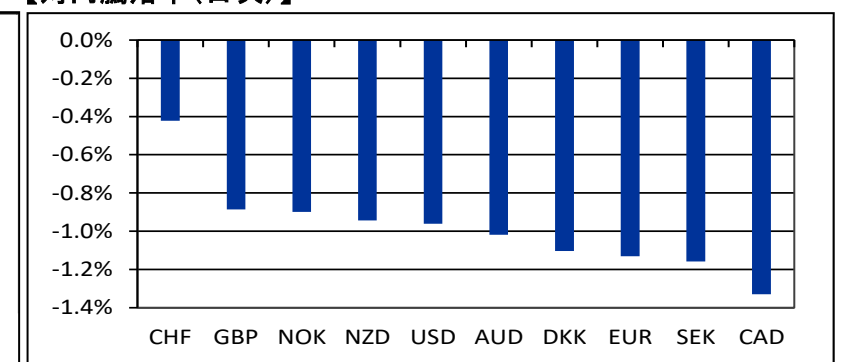
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月25日	17:00	独 IFO企業景況感指数	7月 90.1	92.3
	17:00	独 IFO現況指数	7月 97.5	99.3
	17:00	独 IFO期待指数	7月 83.0	85.8
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	6月 -0.03	-0.19

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.50-137.00	1.0120-1.0300	138.00-141.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は軟調に推移した。137円台前半でオープンした東京時間では、対ユーロでのドル高にドル円も連れ高となり137.95まで上昇する展開となった。一方、海外時間では、7月PMI総合指数がユーロ圏で49.4(前月比▲2.6)、米国で47.5(前月比▲4.8)と景気の分岐点と言われる50を軒並み下回ったことを背景に、米10年債利回りは一時2.7%台前半と約2カ月ぶりの水準に低下したことでドル円も続落し、一時135.58を付けた。下落一服後は上値重く推移し、136.08レベルでクローズした。

本日のドル円は上値の重い展開を予想する。

FOMCを控え、FRB高官らによる発言はなく材料難な中で、先週後半の欧米の経済指標同様に本日発表の米7月ダラス連銀製造業景気指数や独7月IFO企業景況感指数で、景気後退懸念を強める結果となれば、ドル円の重しとなると予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・上遠野